第２学年

学 年 通 信

練馬区立上石神井中学校
令和５年５月３０日（火）

Ｎｏ６

運　動　会

優勝：Ｂ組

全級リレー１位：Ｂ組　　学年種目１位：Ａ組

生徒の皆さんが書いた作文からも、運動会が最高の思い出のひとつになったことが伝わってきました。

学年の中心になって活躍した体育行事委員の皆さんの作文を紹介します。（紙面の都合で一部分を抜粋してあります。）

学年種目の棒引きでは、クラスの何人かが作戦を考えて、皆が協力し合って見事一位でした。転んだときもありましたが、最後の１本をみんなで守り抜いたことが一位へのカギだったと私は思います。

さまざまなハプニングや不安のあった運動会でしたが、全級リレーのメンバー補充も、みんながすぐ協力してくれてスムーズに行うことができ、感謝の気持ちでいっぱいです。誰一人としてあきらめないで臨んだ棒引きや全級リレーを通して、Ａ組の団結力の強さ、そして絆の固さを感じた運動会でした。これから先の行事、Ａ組で過ごせる一日一日を大切にしていきたいと思いました。そして、体育行事委員でよかったと改めて思いました。（Ａ組　岡田　美亜さん）

私が運動会で一番心に残っていることは、競技が終わって戻ってきた選手に、観戦していた人たちが「お帰り」「お疲れさま」などの声をかけていたことでした。拍手と、温かい言葉で迎えられた選手たちは、とても嬉しそうで、このクラスは温かいクラスだと感じました。

そしてリレーでは、待っている人が一生懸命応援していました。自分のクラスの応援はもちろん、最後にゴールするアンカーが走っているときは、クラス関係なく全員で応援していました。

応援や声掛けをみんなでしたことで、クラスや学年の団結力が高まったと思います。クラスごとの勝敗はつきましたが、「団結力」という意味では、全クラス優勝だと思います。　　（Ｂ組　本木　杏さん）

運動会を終えて、自分は体育行事委員としてみんなのことをちゃんと見ていたのか・・・・そんな疑問がある。自分の中で良いと思っていても、周りがそう思っていなければ良くないし、みんなが満足できる運動会を作り上げることが自分の役目であったのだが、自分は果たして役目を果たすことができたのか・・・・そんなことを思った。来年は体育行事委員長になって、自分のクラスや学年だけでなく、全学年が楽しめる運動会を作っていきたいと思った。

運動会は終わったが、このクラスで取り組む行事はまだまだたくさんある。文化発表会、都内巡り、スキー移動教室・・・・・このクラスで進級するときに、Ｃ組でよかったと思えるように努力していきたい。

（Ｃ組　井之原　健さん）